

枝野7区資源保全隊【角田市】

～菜の花栽培による耕作放棄地の解消～

本地域は宮城県南部の内陸部に位置し、東方に阿武隈山地が連なり、西方には阿武隈川が南北に市内を貫流している。

多面的機能支払交付金の前身である「農地・水・環境保全向上対策」から当制度に取り組み、地元小学生や地域住民を対象に、資源循環についての啓蒙を目的として「菜の花プロジェクト」を発足。



【組織概要】活動組織

取組開始:平成19年度

構成員:56名

取組面積:33ha

(田27ha, 畑 5.7ha)

活動内容:

農地維持支払

資源向上支払(共同活動)

取組にあたって

【ねらい】

農地の維持だけでなく、農地周りの水路の補修や遊休農地につながる農道の維持管理にも取り組み、共同活動を通して地域の連携強化を目指している。

【課題】

集落内の高齢化や農業の後継者不足に伴う集落機能の低下により、耕作放棄地が出始めたことがきっかけ。景観の復元を地域の課題として活動に取り組んでいる。



耕作放棄地



耕耘し、菜の花畑に

取組の内容

■菜の花の栽培

当保全隊では、耕作放棄地等の解消を目的に、設立当初から菜の花の栽培に取り組み始め、現在は約8ヘクタールで菜の花を栽培。景観作物としてだけでなく、子ども達の環境学習の場としても活用されている。

■地域の子ども達との交流体験

菜の花栽培を通じた環境保全向上活動及び環境学習の一環として、地元の小学生を対象とした菜種の播種作業から収穫作業までの体験を実施。また、それらの体験と併せ、毎年10月には大学教授や研究者を招き自然環境やエネルギー等について学習する「環境学習会」も開催している。

■菜の花まつりの開催

菜の花が見頃を迎える季節には、当保全隊主催の「菜の花まつり」を開催。地域住民や子ども達がたくさん訪れ、収穫した菜の花を菜種油で天ぷらにして試食するなど、食育活動にもつながっている。

取組の効果

■子ども達との交流が増えたことで、保全隊内での活気が強まり、農地の維持管理活動への積極的な参加につながっている。

■地域全体で取り組むことによって当制度の周知や理解へつながるとともに、地域住民や子ども達の環境保全に対する意識の向上にも貢献している。また、その他の地域行事への参加人数も増え、地域住民のつながりが強まった。

播種体験



収穫体験